

科目15

# 放課後児童支援員の仕事内容

# 科目15:放課後児童支援員の仕事内容

## ねらい

- 放課後児童支援員の仕事内容と求められる資質及び技能について理解している。
- 放課後児童支援員の育成支援以外の職務の内容について理解している。
- 放課後児童クラブにおける職員集団のあり方と職場倫理について理解している。

## 主な学習内容

- 放課後児童支援員の仕事内容
- 放課後児童支援員に求められる資質及び技能
- 放課後児童クラブにおける職員集団のあり方
- 放課後児童支援員の社会的責任と職場倫理

1. 子どもから見た放課後児童クラブにおける  
遊び及び生活と放課後児童支援員の役割
2. 記録、事例検討の重要性
3. 放課後児童支援員の自己研鑽
4. 職員集団のあり方

# 1. 子どもから見た放課後児童クラブにおける 遊び及び生活と放課後児童支援員の役割

# 1. 子どもから見た放課後児童クラブにおける 遊び及び生活と放課後児童支援員の役割

## 放課後児童クラブ運営指針

### 第1章3 放課後児童クラブにおける育成支援の基本

#### (1) 放課後児童クラブにおける育成支援

放課後児童クラブにおける育成支援は、子どもが安心して過ごせる生活の場としてふさわしい環境を整え、安全面に配慮しながら子どもが自ら危険を回避できるようにしていくとともに、子どもの発達段階に応じた主体的な遊びや生活が可能となるように、自主性、社会性及び創造性の向上、基本的な生活習慣の確立等により、子どもの健全な育成を図ることを目的とする。

# 1. 子どもから見た放課後児童クラブにおける 遊び及び生活と放課後児童支援員の役割

## 放課後児童クラブ運営指針 第3章1(4)

- ① 子どもが自ら進んで放課後児童クラブに通い続けられるようにする。
- ② 子どもの出欠席と心身の状態を把握して、適切に援助する。
- ③ 子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるようにする。
- ④ 放課後児童クラブでの生活を通して、日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるようにする。
- ⑤ 子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるようにする。
- ⑥ 子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助し、放課後児童クラブの生活に主体的に関わることができるようにする。
- ⑦ 子どもにとって放課後の時間帯に栄養面や活力面から必要とされるおやつを適切に提供する。
- ⑧ 子どもが安全に安心して過ごすことができるように環境を整備するとともに、緊急時に適切な対応ができるようにする。
- ⑨ 放課後児童クラブでの子どもの様子を日常的に保護者に伝え、家庭と連携して育成支援を行う。

# 1. 子どもから見た放課後児童クラブにおける 遊び及び生活と放課後児童支援員の役割

## 放課後児童クラブ運営指針 第3章1(4)

- ① 子どもが自ら進んで放課後児童クラブに通い続けられるようにする。
- ② 子どもの出欠席と心身の状態を把握して、適切に援助する。
- ③ 子ども自身が見通しを持って主体的に過ごせるようにする。
- ④ 放課後児童クラブでの生活を通して、日常生活に必要な基本的な生活習慣を習得できるようにする。
- ⑤ 子どもが発達段階に応じた主体的な遊びや生活ができるようにする。
- ⑥ 子どもが自分の気持ちや意見を表現することができるように援助し、放課後児童クラブの生活に主体的に関わることができるようにする。
- ⑦ 子どもにとって放課後の時間帯に栄養面や活力面から必要とされるおやつを適切に提供する。
- ⑧ 子どもが安全に安心して過ごすことができるように環境を整備するとともに、緊急時に適切な対応ができるようにする。
- ⑨ 放課後児童クラブでの子どもの様子を日常的に保護者に伝え、家庭と連携して育成支援を行う。

参考資料

・厚生労働省編(2021)『改訂版 放課後児童クラブ  
運営指針解説書』フレーベル館. p26-27. p58-84





令和3年度「放課後児童支援員認定資格研修及び子育て支援員研修の受講促進のための映像教材の作成・周知一式」事業で制作しました。

科目15

# 放課後児童支援員の仕事内容

1. 子どもから見た放課後児童クラブにおける  
遊び及び生活と放課後児童支援員の役割
2. 記録、事例検討の重要性
3. 放課後児童支援員の自己研鑽
4. 職員集団のあり方

## 2. 記録、事例検討の重要性

## 2. 記録、事例検討の重要性

### 放課後児童クラブ運営指針 第3章5

#### (1) 育成支援に含まれる職務内容

- ・日々の子どもの状況や育成支援の内容を記録する

#### (2) 運営に関わる業務

- ・業務の実施状況に関する日誌（子どもの出欠席、職員のサービスに関する状況等）やその他、事業運営に関する記録

◆クラブ日誌や育成支援の記録

◆事故やケガを記録する事故簿

◆引き継ぐための連絡ノート

◆安全点検や避難訓練の記録

◆ヒヤリハットの記録

◆個別的な支援記録

◆物品管理記録

◆会議録

## 2. 記録、事例検討の重要性

### なぜ、記録が必要なのか。

- ◆説明責任を果たす
- ◆トラブルへの適切な対応
- ◆継続した支援

⇒記録は誰にでも分かるよう、正確な事実を残していく

⇒育成支援の充実に役立てていく

## 2. 記録、事例検討の重要性

### 事例検討の方法

#### 放課後児童クラブ運営指針 第3章5(1)

- ・職場内で情報を共有し事例検討を行って、育成支援の内容の充実、改善に努める

◆育成支援の記録や個人記録をもとに、定期的に事例検討をする

◆研修等で学んだ事例を検討課題として話し合う

⇒育成支援の充実、改善に役立てていく

参考資料

・厚生労働省編（2021）『改訂版 放課後児童クラブ  
運営指針解説書』フレーベル館.p122-126





**令和3年度「放課後児童支援員認定資格研修及び子育て支援員研修の受講促進のための映像教材の作成・周知一式」事業で制作しました。**

科目15

# 放課後児童支援員の仕事内容

も  
く  
じ

1. 子どもから見た放課後児童クラブにおける  
遊び及び生活と放課後児童支援員の役割
2. 記録、事例検討の重要性
3. 放課後児童支援員の自己研鑽
4. 職員集団のあり方

### 3. 放課後児童支援員の自己研鑽

# 3. 放課後児童支援員の自己研鑽

## 放課後児童クラブ運営指針

### 第1章3(3) 放課後児童支援員等の役割

- ・放課後児童支援員は、豊かな人間性と倫理観を備え、常に自己研鑽に励みながら必要な知識及び技能を持って育成支援に当たる役割を担うとともに、関係機関と連携して子どもにとって適切な養育環境が得られるよう支援する役割を担う必要がある。

# 3. 放課後児童支援員の自己研鑽

## 放課後児童クラブ運営指針 第7章3(2)

放課後児童クラブの運営主体は、放課後児童支援員のために職場内での教育訓練や研修のみならず、職場を離れての研修の機会を確保し、その参加を保障する必要がある。

- ・放課後児童支援員等は、研修などを通じて、必要な知識及び技能の習得、維持及び向上に努める。
- ・放課後児童クラブの運営主体には、職員が自発的、継続的に研修に参加できるように、研修受講計画を策定し、管理するなどの環境を整備していくとともに、職員の自己研鑽、自己啓発への時間的、経済的な支援や情報提供も含めて取り組んでいくことが求められる。

◆OJT (On the Job Training) 職場内の教育訓練

◆Off-JT (Off the Job Training) 職場を離れての教育訓練

参考資料

・厚生労働省編(2021)『改訂版 放課後児童クラブ  
運営指針解説書』フレーベル館. p28-29. P199-201



令和3年度「放課後児童支援員認定資格研修及び子育て支援員研修の受講促進のための映像教材の作成・周知一式」事業で制作しました。



科目15

# 放課後児童支援員の仕事内容

1. 子どもから見た放課後児童クラブにおける  
遊び及び生活と放課後児童支援員の役割
2. 記録、事例検討の重要性
3. 放課後児童支援員の自己研鑽
4. 職員集団のあり方

## 4. 職員集団のあり方

## 4. 職員集団のあり方

### 放課後児童クラブ運営指針 第7章3(1)

- ・放課後児童支援員等は、会議の開催や記録の作成を通じた情報交換や情報共有を図り、事例検討を行うなど相互に協力して自己研鑽に励み、事業内容の向上を目指す職員集団を形成する。
- ・放課後児童支援員等は、子どもや保護者を取り巻くさまざまな状況に関心を持ち、育成支援に当たっての課題等について建設的な意見交換を行うことにより、事業内容を向上させるように努める。

◆子どもから見た職員集団

◆職員集団を形成するための取組

◆必要となる職場倫理

参考資料

・厚生労働省編(2021)『改訂版 放課後児童クラブ  
運営指針解説書』フレーベル館.p198



令和3年度「放課後児童支援員認定資格研修及び子育て支援員研修の受講促進のための映像教材の作成・周知一式」事業で制作しました。